

東京2020大会時におけるライトアップの取組(概要)

[目的]

東京2020大会の機運醸成を図るとともに、東京の夜間景観に磨きをかけ、東京の魅力国内外に発信するため、大会時期にあわせた主要施設のライトアップを行う。

[テーマ]

“東京らしさや大会を象徴する施設”をライトアップし、おもてなしを表現

- “光”で“東京らしさ”(首都、歴史、文化、水辺)を表現
- +
- “光”で“東京2020大会”を盛り上げる

[コンセプト]

“環境にやさしく、品格のある東京らしいライトアップ”

- 大会期間中、多くの人の目に触れる施設を中心に、ライトアップを効果的に実施
- 光害や省エネルギー、生態系や周辺環境に配慮した光環境の整備
- 光と影のバランスに配慮した照明
- 施設や地域の特性を生かした、ライトアップによる演出照明の実施
- 1964年大会を象徴する施設や江戸から東京への歴史・文化を感じるランドマークを光で演出
- 大会期間中のテレビ放映等を意識したライトアップによる光の演出

[ライトアップ施設の考え方]

《東京らしさを象徴する施設》

- ・大会競技会場等周辺
- ・ライブサイト会場等周辺
- ・大会ルート周辺
- ・遠方からでも視界に入るランドマーク

《大会を象徴する施設》

- ・夜間に競技が実施される等、夜間に多くの人目に触れる
- ・構造的にしっかりしていて希少性がある
- ・光害等の影響に配慮

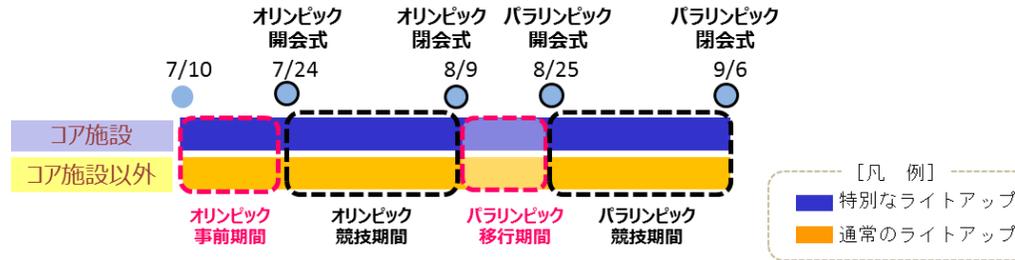


- 特別なライトアップ※を実施する施設を“コア施設”とする

※特別なライトアップ
通常実施しているライトアップとは異なる特別な演出や、ライトアップ時間の延長など

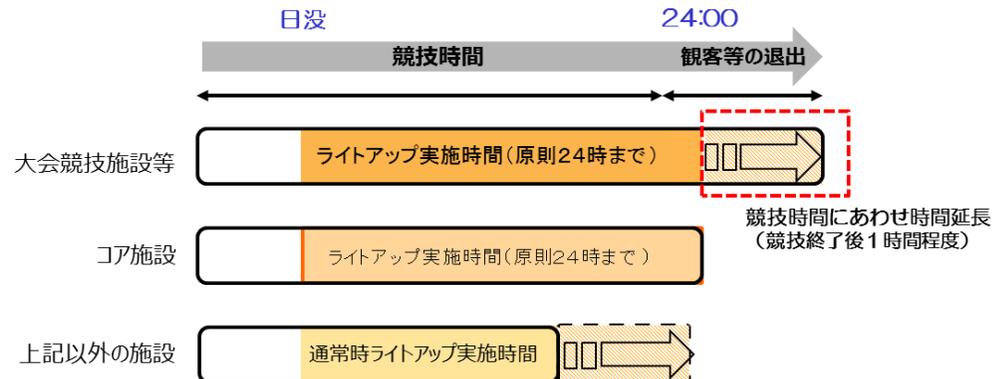
【ライトアップの期間】

- 期間は、原則、**2020年7月10日（東京で聖火リレー開始）から9月6日（パラリンピック閉会式）まで**



【ライトアップの時間】

- ライトアップ施設である大会競技施設等については、**原則24時までライトアップを実施**
さらに、競技時間にあわせ、観客の退出等を考慮し、**ライトアップの時間を延長**
- コア施設については、**原則24時までライトアップを実施**
- 上記以外の施設については、各施設管理者の判断で実施



【ライトアップの方法】

- テーマやコンセプト等を踏まえ、**各施設管理者がそれぞれの施設に相応しいライトアップを実施**

【ライトアップ施設】

※太字 : コア施設 (特別な演出や長時間のライトアップを実施)

《東京らしさを象徴する施設等》

- (首都) ⇒国会議事堂、最高裁判所、中央合同庁舎第6号館赤れんが棟、迎賓館赤坂離宮、皇居外苑、
東京都庁**第一本庁舎**、行幸通り、**東京タワー**、**東京スカイツリー**、JR東京駅、**東京ビッグサイト**、
NTTドコモ代々木ビル、渋谷ヒカリエ、新宿区役所第1分庁舎
- (歴史) ⇒日比谷公園・日比谷公会堂、上野恩賜公園、旧安田庭園、竹橋、浅草寺、新橋S L広場、JR上野駅、
JR両国駅、東武浅草駅、**歌舞伎座 (GINZA KABUKIZA)**
- (文化) ⇒東京芸術劇場、江戸東京博物館、豊洲市場、国技館、日本武道館、東京国際フォーラム、大井競馬場、
歌舞伎座 (GINZA KABUKIZA)
- (水辺) ⇒**ゲートブリッジ**、**レインボーブリッジ**、豊洲大橋、**隅田川10橋**、隅田川橋梁群等、隅田川テラス、
京浜運河橋梁群等、天王洲水門、天王洲アイル、日の出第二客船待合所・日の出ふ頭上屋、
東京国際クルーズターミナル、竹芝客船ターミナル、みなとパーク芝浦、台場・青海地区

《大会を象徴する施設等》

- (大会競技施設等) ⇒**新国立競技場**、国立代々木競技場、**東京体育館**、**東京スタジアム**、
武蔵野の森総合スポーツプラザ、国技館、日本武道館、東京国際フォーラム、
有明体操競技場、**有明アリーナ**、**東京アクアティクスセンター**、**東京ビッグサイト**
- (ライブサイト等) ⇒**東京都庁第一本庁舎**、日比谷公園・日比谷公会堂、上野恩賜公園、池袋西口公園、
調布駅前広場、首都大学東京南大沢キャンパス、南大沢駅周辺